



平成 21 年度 第 14 回 「音の匠」 プロフィール

大森 裕武 (ひろむ) 氏



オルゴール修理工房「ハイランドアンティーク」(神奈川県横須賀市) 経営者。
1978 年頃、アンティーク・ディスクオルゴールに出会い、メカと音楽の両要素を備えたオルゴールに魅かれ、修理の専門家となる。MBSI (国際オルゴール協会) 会員として世界のオルゴール技術者と交流する。1985 年頃から現「ハイランドアンティーク」をかまえ活動。MBSI 日本支部を通じ、後継者の指導も積極的に行っている。著書にオルゴール修理技術のバイブルともされている、「オルゴール修理の実技」がある。

ホームページ：<http://www12.big.or.jp/~hld-atq/>

大谷 勲 (いさお) 氏



オルゴール、蓄音機など修理全般の「おでんせ」(神奈川県相模原市) 経営者。
1970 年頃よりアンティーク時計類の本格的な修理に従事。オルゴール修理の草分け。
約 100 年前の音響機器の音を再現するため、使われている部品の復元から手がける。
アンティーク時計はもとよりシリンダーオルゴール、ディスクオルゴールからオートマタまで幅広く、各地の博物館などからの依頼にその技で応えている。

井上 正二郎 (しょうじろう) 氏



「オルゴールの小さな博物館」(東京都文京区) メカニック担当

1989年から大阪でオルゴールの修理を開始し1999年から現在の「オルゴールの小さな博物館」でメカニックとして勤務。古典技術の復活を心掛け、昔と同じ音を出すため一つ一つの部品、材料などにもこだわり、自ら部品の復元から行なう。オルゴールには、シリンダー、ディスク、自動ピアノ、ストリートオルガン等種々のカテゴリーがあるが、博物館所有の多種多様な全カテゴリーの修理・修復作業を行い、古の技術を今日に伝えている。

平成 21 年度 第 14 回 「音の匠 特別功労賞」

名村 義人 (よしひと) 氏



オルゴールの蒐集家・研究者。東京・護国寺の「オルゴールの小さな博物館」館長。1983年5月、日本で嘉也子夫人とともに最初のオルゴール博物館を東京・護国寺の自宅を開放してスタート。2003年5月の開館20周年を機に建物を新築。同館では18世紀末から20世紀のシリンダーオルゴール、ディスクオルゴール、自動演奏オルガン、自動ピアノ、オートマタ等の動作品を系統だて展示(所蔵台数約400台)。またアンティークオルゴールについての啓蒙活動も積極的に行なっている。著書に「オルゴールの詩 - 十九世紀の自動演奏装置をきく」(音楽之友社)他多数。CD製作多数あり。

ホームページ：<http://www.musemuse.jp/>